

V28b 兵庫県立西はりま天文台 2 m望遠鏡計画 I 望遠鏡本体と統合制御システム

圓谷 文明、坂元 誠、石田 俊人、時政 典孝、鳴沢 真也、尾崎 忍夫、黒田 武彦（西はりま天文台）

西はりま天文台 2 m望遠鏡は、公開天文台の望遠鏡として、眼視観望（天体撮影を含む）と光・赤外線領域での研究観測を行う多目的望遠鏡である。カセグレン，両ナスミスを含む複数の焦点を持ち、それぞれに専用の観測装置が常時搭載され、必要に応じて焦点モードを切り替えて使用する。

規模に比して少ないマンパワーを補うために、望遠鏡操作と観測装置管制を統合する制御システムを導入する。各観測装置の操作には統一性を持たせ、操作の習得を容易にさせる。また観測シーケンスをスクリプト化する機能によって、望遠鏡をロボット化し、自動または半自動による運用を可能にする。この機能を使って、一般市民に向けて大型望遠鏡の敷居を引き下げると同時に、中・長期研究観測プロジェクトにおける望遠鏡運用の省力化を図る。

我々は、この望遠鏡を使って、“@Site”による市民参加型の中・長期研究観測プロジェクトを実現し、研究と公開・教育普及を同時に成立させる新しい事業モデルの確立を目指す。